



福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

観測史上最も早い梅雨明けを迎え、はや、夏雲湧く 7 月となりました。夏至から 11 日目は半夏生。

農家はこの日の天気です。秋の実りを占いました。当日が雨なら大雨が続くなど、地方によって様々な風習、物忌みがあるそうです。

長雨の風情を感じる間もなく既に真夏の炎暑。皆様にはくれぐれもご自愛ください。



<紙面から>

補助器具センター 老年泌尿器科学会発表 ……1ページ

デイサービスセンター 地域交流うどんの会

個別地域ケア会議 ……2ページ

事業報告会 家族介護教室みどりの輪

グリーンヒル同奏会演奏会 ……3ページ

お知らせ リレーコラム ……4ページ

高齢者総合センター補助器具センター 日本老年泌尿器科学会にて研究発表



高齢者福祉計画（平成 30 年度から 32 年度）には、多職種連携による在宅生活継続支援の取り組みの文脈で、中・重度の要介護状態になっても安心して暮らしを継続するために、介護負担の大きな要因である（夜間）排泄ケアに関する相談機能の強化が記載されています。

この機能を主として担うのが補助器具センターです。平成 5 年開設以来、福祉用具の利用、住宅改修、言語聴覚や排泄に関する専門相談等を担当しています。介護保険前に、他自治体に先駆けて開設された市独自の機関です。

同センターの堀家京子作業療法士、原陽子理学療法士、牧野美奈子排泄ケア専門員が、5 月 12 日に福井市で開催された第 31 回日本老年泌尿器科学会で発表しました。同会は、高齢者や障害者の排尿の管理や泌尿器疾患を持つ高齢者の様々な問題について研究し、その生活の質の改善・向上を目指す学会です。

発表内容は、「武蔵野市の施策と補助器具センターの排泄専門相談システム」「排泄専門相談の事例より一般的なチェックポイントと対応例をまとめた排泄確認表」についてです。

補助器具センターの独創的な取り組み・実践に対して、座長から「皆様も武蔵野市を目標に、住みやすい街を目指して頂けたら」とのお言葉をいただきました。

会場からの質問は、「武蔵野市が（独自の施策を）継続していく秘訣は?」「在宅では（相談対応に）相当量の時間もかかると思うが、一人当たりどの位の時間をかけているか」「入院時に、（利用者の）在宅状況を病院にどのようにつなげているのか」などでした。「排泄ケア専門員は、ケアマネジャーから事前に情報収集し、訪問時間は 1 時間程度」「病院との連携はケアマネジャーを中心に行っている」ことなどを説明しました。また、終了後も「インターネットで資料を見ることはできるか」「資料がもらいたい」「在宅で生活する高齢者に同じ施策を考えているので、今後も相談していきたい」等、高評価を得ました。

既に「排泄確認表」を市内のケアマネジャーに紹介・周知した所ですが、今後、実際の効用、使い勝手を集約し、内容を更に充実向上させる予定です。

今後も補助器具センターの専門性を陶冶し、市民福祉の向上に尽力いたします。



日本老年
泌尿器科学会
～福井市～



学会会場全景



闊達に発表



高齢者総合センターデイサービスセンター
恒例☆地域交流会☆うどんの会

6月9日に開催しました。

ご利用者17名と親子参加者5組14名、ボランティア3名が和気あいあいと共同作業しました。ご利用者は、子どもたちとのふれ合いに、自然と笑みがこぼれ、うどんをこねる手にも力が入ります。みんなで協力して出来上がったうどんは、揚げたての天ぷらと共に賞味しました。とても美味しかったと大好評でした。

普段は物静かなご利用者も、この日は積極的に子どもたちに話しかけ、終始、笑い声が絶えないひと時でした。

親御さんのご感想は、「多くの人と交流し、子どもが新鮮な体験が出来ました」「子どもが集中して取り組んだ」「娘が積極的に取組み、今まで見たこともないほど、いきいきとしていた」「スタッフが親切」など有難いものでした。

これからも地域に開かれたデイサービスを実践します。



高齢者総合センター在宅介護・地域包括支援センター
個別地域ケア会議開催



在宅介護・地域包括支援センターは地域ケア会議を主催しています。

同会議にはエリア別と個別の2種類があります。

エリア別会議は地域の医療・福祉機関、福祉に関わる市民団体や活動市民、集合住宅の自治会などが参集し、地域全体の課題や対応法を話し合います。これにより、まちぐるみの支え合いを推進することが目的です。これに対して個別会議は個々の高齢市民の生活課題の克服を、ご本人やご家族を交えて、主治医、担当福祉職、地域の関係者等が一堂に会し話し合います。

5月22日に緑町パークタウンB7集会所で、個別地域ケア会議を開催しました。

今回は、この春、緑町に転居して来られた高齢者ご夫妻について、「今後安心して生活できるようになるには」をテーマとし、都市再生機構の職員、自治会役員、主治医、ケアマネジャー等17名が参加し、それぞれの立場から、ご本人との関わりや今後のサポートについて協議しました。実務的で有意義な意見交換ができました。



自立支援のための真剣な協議

個別地域ケア会議は、個別事案を通して、地域課題を見つけ、地域のネットワークを強化し対応力を向上させることをも目的としています。今回の会議では、地域住民の皆様と関係機関との顔の見える関係づくりができたことで、課題が明確となり、今後の具体的な支援の方向性を共有することができました。ご夫妻が安心して生活できるように、今後も継続して支えていきたいと思っております。





社会活動センター 適切な講座選択のための講座見学会

平成 29 年度に社会活動センターは文化、音楽、芸術、運動等に関する 37 の講座を開催し、受講者数は延べ 36,288 人でした。講座は基本的に初心者を対象とし、より多くの皆様の介護予防、健康増進、趣味活動の深化、社会参加などに資するよう新規の方を優先しています。

開設以来 25 年、高齢者人口の増加に伴い抽選となる講座がある一方、出席率の低下や終講まで出席しない受講者なども増加しています。貴重な社会資源が活用されていません。

この原因は講座内容の理解不足、イメージと実際のギャップ、運動強度の誤認等が考えられます。そこで、適切に講座選択できるよう見学会を実施しました。それまでも、ご希望による個々の講座見学会はありましたが、センターとしての試みを 28 年度後期講座募集前に実施しました。

見学会には延べ 158 名が参加され、「生の講座を目にして理解が深まった」「自分の体力ではついていけないと感じた」などのご感想が寄せられました。見学会後の後期講座では、新規申込者の増加、出席率の向上、終講までの受講継続の効果が見られました。この試みを受けて 29 年度からは、多様な講座を簡潔で分かりやすく紹介するため、講座の実際や講師によるコメント、講座の特徴的なシーンと個性豊かな講師、その温かい人柄などを動画にして映像を通じ紹介しています。

今後も市の介護予防施策、市民の皆様の健康長寿に役立てるよう、より良い講座紹介・情報提供に努めます。第二の青春は社活で！！



グリーンヒル同奏会演奏会 北町高齢者センター へ



5 月 30 日、青山学院大学の卒業生が結成する「グリーンヒル同奏会」の皆様がお越し下さいました。

編成はヴァイオリン、ビオラ、オーボエ、ファゴットが各 1 人、フルート 3 人です。クラシックの名曲からご利用者の耳に馴染んだ歌まで、多彩なレパートリーを持っています。

ご利用者参加の合唱コーナーでは、体操と踊りを兼ねた「高原列車は行く」も元気に歌い、体を動かしました。ご利用者は演奏を満喫され、「知らない楽器が珍しくて、たくさんの楽器に感心しました」「クラシックのみならず、なじみのある歌も演奏されたので、あっという間に時間が過ぎていきました。楽しかった！」とのご感想をいただきました。

良き演奏を鑑賞でき、気分も爽快、梅雨の曇り空も晴れたかのようなようでした。

楽しい音楽プログラムを有難うございました。



在宅介護・地域包括支援センター 家族介護教室みどりの輪 「高齢者の施設ってどんなところ？」

5 月 25 日に開催しました。今回は、様々な高齢者施設について知識を深めて頂くことを目的として、「高齢者の施設ってどんなところ？」と題し、権利擁護センターの高橋大輔ソーシャルワーカーが講師を務めました。

施設利用については皆様の関心が高く、当日は 16 名がご参加されました。

入所施設ごとの特徴、市内にある施設、その利用要件、入所を選択する際の注意点などについて、事例を挙げて説明がありました。

皆様はメモを取りつつ、熱心に耳を傾け、「大変勉強になった」「今後の参考になる」などのご評価を頂きました。

今後も、実践的な介護教室として、より良い福祉・介護情報の提供、老いじたくなど多方面をカバーするみどりの輪を展開します。





会社からのお知らせ

老いじたく講座

～ 老いじたくの基礎知識 ～

誰にでも訪れる老いに備え、元気なうちから準備して、尊厳ある老後生活を築きましょう。

日時 7月30日(月)10時30分から12時

場所 福祉公社 1階会議室



ご寄附を有難く拝受しました。

室 淳子 様 100,000 円

室 洋子 様 100,000 円

～ エンディングノート 書き方講座 ～

想いを記すことは残された人々への指針

日時 8月13日(月)13時30分から15時

場所 福祉公社 1階会議室



～ 納涼 囲碁・将棋大会 ～

参加者大募集!



日時 将棋 平成30年7月20日(金)

囲碁 平成30年7月31日(火)

9時45分から15時30分

場所 高齢者総合センター

参加 市内在住60歳以上の方

問合せ 社会活動センター

申込 ☎ 51-1975 参加費無料です。



問合せ 在宅サービス課 権利擁護センター

申込 ☎ 23-1165 参加費用は無料です。

職員リレーコラム

第50回 <身も心もおどる 阿波おどり>



権利擁護センター 高岡真理

東京で生活するようになって8回目の夏を迎えました。

私は四国・徳島の生まれです。毎年この時期になると「今年の阿波おどりはどうしようか」とウキウキしながら予定を立てたものです(私が小学生の頃、運動会の競技に【阿波おどり】があり、全校生徒で踊っていました)。阿波おどりの本番期間は、8月12日から15日までの4日間、昼も夜も阿波おどりを楽しめます。スーパーや商店街、踊れる場所があればどこでも盛り上がり、踊りの渦に巻き込まれ、興奮のるつぼと化します。機会がありましたら「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにや損々」のお囃子通り、踊る阿呆となってぜひ阿波・徳島の夏を楽しんでください。

⇒ 次回は デイサービスセンター 田中美智子

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成30年8月10日発行予定です



武蔵野市福祉公社

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車 ☎0422-23-1165

(総務課 権利擁護センター ケアプランセンター)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1 バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護・地域包括支援センター

・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

バス停「北町四丁目」から徒歩三分

☎0422-54-5300

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>